

第8回「朗読を楽しむ」

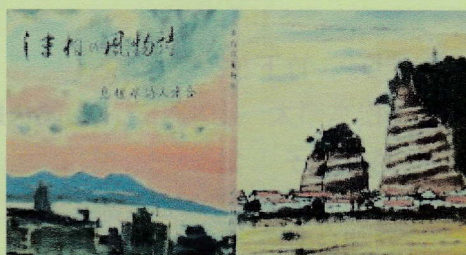
「あいつ」

九月初旬、何かとお忙しいなか、二乗場くださり、誠にありがとうございました。二の企画の目的です。それぞれ個性のある声や表現で耳から聞く言葉は、目で読む言葉の単調さとは違い、多彩で豊かな世界が伝わります。朗読する側は、どのように表現し伝えるか苦心します。

今回で8回目になります。初回から一貫して取り上げてきたのは、「日本の名作」と「地域の創作作品」です。

今年石見銀山世界遺産登録十周年にあたります。それを記念して、数少ない銀山関係の作品や本の中から選んで朗読します。昔話や民話、民謡、詩、随筆、小説などは、世界遺産に指定された「遺跡や文化的景観」に含まれますが、人の心を豊かにしてくれます。それは世界遺産石見銀山がある二の土地の豊かさにもなります。

出演していただいたみなさんに心よりお礼を申しあげます。土曜日の午後のひととき、どうぞ朗読と民謡をお楽しみください。いい言葉との出会いがありますように。(劇研「空」 洲浜)



詩集『しまねの風物詩』島根県詩人連合刊行

第一部「朗読で楽しむ石見銀山」

司会……高野久代

オープニング・映像と合唱「早春の仙の山に立つ」

(コーラス サウンドカラー) 作曲 大畑世利子 作詞 洲浜昌三

1. 「石見銀山のはじまり」……『銀山ものがたり』より

朗読……竹下ちとせ

2. 「石見銀山旧記」……『石見銀山要集』の冒頭より

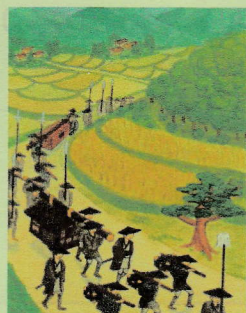
群読……松本領太 山本和之 山尾一郎

3. 「代官 天野助次郎 大層村巡視のひとこま」 作・和上豊子

朗読……和上豊子

4. 「上野代官借金騒動記」 作・伊藤静絵

講談……伊藤静絵



本の挿絵より 尾村七恵

5. 「おツルの話」……『銀山ものがたり つぎ』より

朗読……勝部良子